



練習船をあなたの街に呼んでみませんか

練習船寄港要請のご案内

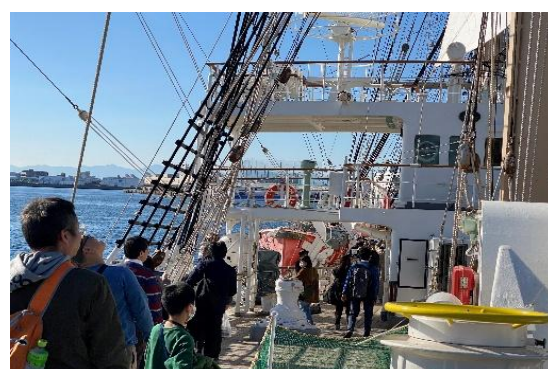
独立行政法人海技教育機構（JMETS）の練習船は、船員になろうとする者の海技免許の取得に必要な乗船実習を行うために、年間計画に沿って日本沿岸や遠洋を航海していますが、地方自治体等から、街の周年記念式典、みなとのお祭り等のイベントの際に寄港の要請があり、諸般の条件が整えば、寄港地での一般公開等を通じて、港の賑わい創出や海事振興のお手伝いをいたします。ご興味のある地方自治体等の公的機関、営利を目的としない団体、実行委員会等におかれましては、まずはお問い合わせフォームよりお気軽にご連絡ください。

練習船が呼ばれたイベントの例

市区町村制や開港に係る周年記念式典、みなとのお祭り、海事広報イベント等に呼ばれ、船内の一般公開を行い、多くの方に乗船・見学していただいています。



周年記念式典の例



船内一般公開の際の乗船・見学の様子

練習船が呼ばれたイベントの例（一部抜粋）

入港日	寄港地	練習船が呼ばれたイベント	寄港船舶	一般公開時の乗船者数
2017年5月18日	宇野港	たまの港フェスティバル	日本丸	5,614名
2017年11月3日	伊万里港	開港50周年記念	日本丸	2,055名
2018年7月20日	新潟港	海フェスタ新潟	海王丸	8,821名
2019年11月15日	大洗港	あんこう祭り	日本丸	5,983名
2019年11月17日	田子の浦	田子の浦ポートフェスタ	大成丸	2,087名
2019年12月	福山港	ふくやま港まつり	銀河丸	3,492名
2023年8月4日	姫川港	開港50周年記念事業	日本丸	3,515名
2023年8月17日	敦賀港	海事広報イベント	日本丸	3,905名
2023年11月2日	長崎港	長崎帆船まつり	海王丸	3,372名
2023年11月16日	門司港	北九州市制60周年記念	海王丸	2,885名
2024年7月12日	大井川港	開港60周年記念事業	日本丸	6,662名
2024年7月25日	宮古港	海事広報イベント	日本丸	3,721名
2024年8月9日	石狩湾新港	開港30周年記念事業	日本丸	5,967名
2024年8月9日	敦賀港	海事広報イベント	海王丸	1,707名
2024年8月23日	三田尻中関港	夏の幸せますフェスタ港まつり	日本丸	3,220名
2024年11月8日	名古屋港	寄港イベント	日本丸	5,141名
2025年4月24日	神戸港	震災と未来のこうべ博	日本丸	3,605名
2025年5月30日	大阪港	大阪・関西万博／海上パレード	日本丸	1,090名
2025年7月21日	東京港	海の日記念行事2025	大成丸	919名
2025年7月24日	青森港	みなとまち・あおもり誕生400年	日本丸	10,544名
2025年8月8日	小樽港	港湾関連三賞受賞記念事業	海王丸	3,003名

練習船の寄港日程、練習船にできること等の例

■ 1日目 入港

タグボートの支援を受けて、入港します。

主催者により、入港歓迎式典、イベントの開会式、関係者への表敬訪問等が設定される場合には、船長等が対応いたします。

停泊中の夜間は、船体のイルミネーションで港を彩ります。



入港風景（日本丸）



入港風景（青雲丸）



入港歓迎式典の例



入港歓迎式典の例



入港歓迎式典にて花束贈呈の例



表敬訪問の例



船体イルミネーションの様子

■ 2～3日目 一般公開

一般の方々が、練習船に乗り込み、デッキ、船橋、教室等を見学できます。
また、船のロープワークや椰子摺り（椰子を使ったデッキ掃除）の体験も設定できます。

日程：汽船 1.0 日間・帆船 1.5 日間対応可能

時間：午前 09 時 00 分～11 時 30 分（11 時 00 分受付締切）

午後 13 時 00 分～16 時 00 分（15 時 30 分受付締切）



一般公開の際の岸壁の人出



デッキ見学



号鐘体験



帆走用舵輪（帆船）

■ 4日目 補給・休養日

物資補給、実習生・乗組員の休養のため、1日の休養日を設けさせていただきます。

※2～4日目の日程は行事予定、入出港日により入替・変更があります。

■ 5日目 出航

主催者により、イベントの閉会式、出航お見送り、出航式典などが設定される場合には、船長等が対応いたします。



出航お見送りの例



出航式典の例

練習船の寄港の条件

■主催者に関する条件

主催者は、次のいずれかを満たすものであること。

- ・国、地方自治体（都道府県、市区町村、一部事務組合）、独立行政法人等の公的機関。
- ・港湾振興協会、海運組合、商工会議所、一般社団法人その他の営利を目的としない団体の場合は、公的機関が協賛していること。
- ・実行委員会の場合は、公的機関が実行委員会の委員となっていること。

主催者は、会場への入場料や練習船への乗船料を徴収しないこと。

■港湾の水深、岸壁等に関する条件

水 深：港内・航路および岸壁付近の水深が各練習船の必要水深以上であること。

岸 壁：係船柱、防舷材など大型船舶の係留可能な設備が備えてあること。

停泊期間の昼夜を通じて、実習生・乗組員の通行が可能であること。

入出港：入出港時に水先案内人・タグボート・綱取り放しの手配ができること。

補給等：清水の補給ができること

廃棄物の陸揚げ処理が可能であること。

■経費その他の詳細については、お問い合わせください。

※練習船一覧 <https://www.jmets.ac.jp/ship/index.html>

練習船の寄港に向けた準備のスケジュール

練習船の寄港は、港湾の水深、岸壁等に関する条件が満たされているかどうかの調査、船員になろうとする者の乗船実習との日程調整等を済ませたうえで行うことになるため、概ね次のスケジュールに沿って、事前の準備を行います。

寄港前々年度～前年度9月

- 寄港要請受付
HP（お問い合わせフォーム）、電話、来庁等
- 入港可否検討（寄港時期及び物理条件検討）

前年度10月～11月頃

- 寄港要請公文の受領

2月～3月頃

- 寄港内定・回答公文送付

入港4ヶ月前頃～入港直前

- 行事内容調整
- 港務事項の調整（岸壁・タグボート・水先人・補給等）



お問い合わせ先

企画調整部企画課 寄港要請担当

電話:045-211-7316（平日 10：00～17：00）

FAX :045-211-7317